

【彙報】

③その他

JR さわやかウォーキング

JR 東海主催の「JR さわやかウォーキング」に“創立から 70 年を誇る愛知大学記念館を訪ねて”と題した新コースが設けられ、愛知大学がゴール地点となる歩行距離約 10 km の約 3 時間コースが 10 月 23 日（日）に開催されました。大学記念館が「JR さわやかウォーキング」コースの立ち寄りポイントになるのは、昨年を引き続き 2 回目で、今回は、コースの最終ポイントとなりました。参加者は総勢 1,418 名、うち大学記念館に 901 名が来館されました。

『東亜同文書院の 45 年+愛知大学の 70 年』、と『コッドレスク俳画』（ルーマニアコンスタンツァ・オヴィディウス大学准教授、俳画家）の特別展を同時開催し、常設展に加え、新たな展示、パネル等をお見せすることができました。国の登録有形文化財である、築 108 年の大学記念館に立ち寄られ、創立 70 年の歴史を誇る愛知大学を体感してもらえたことを嬉しく思います。今後とも地域に根ざし、地域に開かれた愛知大学記念館を目指していきます。

“創立から 70 年を誇る愛知大学記念館を訪ねて”ウォーキングコース

豊橋駅→羽田八幡宮→湊神明社→吉田神社→豊橋公園・吉田城（鉄櫓）→黒福公園→愛知大学記念館→愛知大学前駅

愛知大学記念館(旧陸軍第十五師団司令部)



1908(明治41)年に陸軍第十五師団司令部として竣工。1925(大正14)年に第十五師団が廃止された後、1927(昭和2)年より1945年まで豊橋陸軍教導学校、豊橋(第一)陸軍予備士官学校本部となった。

敗戦直後の1946(昭和21)年、予備士官学校本部跡地を利用して愛知大学が誕生すると、翌1947年1月から1966(平成8)年に使用停止されるまでの約半世紀にわたり、愛知大学本館として重要な役割を果たした。

1998(平成10)年に文化庁により登録有形文化財に指定された(登録番号:第23-0009号)。

現在は「愛知大学記念館」として、東亜同文書院大学記念センターの活動拠点であるとともに、中国の革命家・孫文とその協力者だった山田良政・韓三郎兄弟をはじめ、愛知大学のルーツにあたる東亜同文書院や愛知大学に関する貴重な資料を、記念センター展示室にて数多く展示している。

2016年10月23日(日)

歩いて巡る豊橋の歴史～創立から70年を誇る愛知大学記念館を訪ねて～

スタート駅：東海線 豊橋駅

コース距離	所要時間	スタート/終了時間
約10.9km	約2時間50分	8:30～11:00

コースマップ 豊橋駅

Information

愛知大学記念館 豊橋駅(東海線)徒歩約45分・愛知大学前駅(近鉄線)

